

3月6日 CVV 定例会議事要旨

日時：2024年3月6日(水) 午後5時半から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者 (順不同・敬称略)：23名 (会員・会友)

古田・川谷・青木・宇野・南荘・今岡・原・古川・野坂・鈴木巖・田中・石原・栗田・下土居・武・

阿部・先本・坂東・祝・吉岡・荒武・澁谷 (土木学会成熟シビル小委員会幹事長)・黒山
オブザーバー参加：串田守可氏、河野雄造氏 (新規加入予定者)

小瀬川氏、松永氏 (地盤工学会関西支部)

<配布資料>

- ① 1月9日定例会議事要旨
- ② 2023年度土木遺産調査 (奈良市周辺) 報告 (南荘)
- ③ 2024年度 CVV いきいき (学童支援) の活動計画 (チラシを含む) (鈴木巖)
- ④ CVV いきいき学童支援に係る検討および活動経緯 (鈴木巖)
- ⑤ 明石高専公開講座「トラス橋模型を作る講座」について (鈴木巖)
- ⑥ 地盤工学会関西支部第15回若手セミナー打合せ資料 (小瀬川)
- ⑦ 舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センターと CVV (プログラムを含む) (先本)
- ⑧ CVV×成熟シビル (澁谷)
- ⑨ 新メンバーとの意見交換会議事メモ (川谷)
- ⑩ 来年度の会計運営方針について (石原)

<主な議事>

古田代表の挨拶の後、新規加入予定の串田守可氏、河野雄造氏を石原会員が紹介し、その後両名が挨拶された。続いて、黒山が資料確認した。また、川谷幹事長が前回定例会の議事要旨 (資料①) を確認した。

1. 2023年度土木遺産調査 (奈良市周辺) 報告 (南荘)
資料②に基づいて奈良市周辺の土木遺産の調査報告書の内容を紹介した。
2. CVV2024年度いきいき活動計画の協議 (鈴木巖)
資料③に基づいて、2024年度のいきいき活動計画を紹介した。実施日は財団と調整済みであるが、今後各小学校と調整するので変更の可能性がある。なお、その後の協議で7月20日の開催では下土居、南荘両会員が手伝うこととなった。次に資料④に基づき CVV のいきいき活動支援の経緯や履歴を紹介した。
3. 明石高専からの申し入れに関する協議 (鈴木巖)
川谷幹事長が明石高専鍋島教授の申し入れ (トラス橋模型づくりノウハウの伝授依頼) の経緯を説明した。また、宇野会員からも補足説明があった。その後、資料⑤に基づき CVV への鍋島教授からの申し入れ内容が紹介された。協議内容は以下のとおり。
 - ・ キットの材料費は1セット 300円程度。材料費は安価だが作成のノウハウがあるとともに、製作の手間は結構かかっている。(鈴木巖)
 - ・ CVV 側の担当者が製作方法等を伝える会合を持つことを鍋島教授側に提案したいがよいか。(川谷)

- ・ 来年度から助成金がなくなるので必要な経費（例えば打合せの交通費等）を先方に負担してもらうことを提案してもよいのでは。（南荘、黒山）
 - ・ 技術的ノウハウがあるので完全にオープンというのは悩ましいと感じる。明石高専が継続して実施するかどうかは不明だが、高専で購入された備品（接着剤等）を CVV に提供するなどのギブ&テイクもあってもよいのでは。（澁谷）
 - ・ 例えば学生のアルバイト代など公開講座の予算が高専側にあるはず。CVV 側の必要経費を請求してもよいのでは。（南荘）
 - ・ CVV のアイデアが詰まったものなので今回限り（明石高専限り）との確認も重要。（宇野）
 - ・ 川谷幹事長が上記の内容を踏まえ鍋島教授と協議することとなった。
（翌日 3 月 7 日、川谷幹事長から鍋島教授に電話協議。その結果、高専側の予算等の事情で今回の申し入れの話は「無し」となった。）
4. 地盤工学会関西支部第 15 回若手セミナー協力依頼に関する協議（小瀬川）
小瀬川氏から資料⑥に基づいて次年度の依頼内容を説明した。6 月の地盤工学会関西支部の幹事会に諮りたいのでそれまでに講師等を調整したい。（小瀬川）
→次回定例会までに窓口の黒山と幹事団で調整する。
5. 舞鶴高専と CVV の共同活動報告（先本）
資料⑦に基づいて舞鶴高専の社会基盤メンテナンス教育センターと CVV との関係を説明した。次年度の第 4 回講習会への CVV からの参加要請があった。（先本）
6. CVV と土木学会本部成熟したシビルエンジニア活性化小委員会とのかかわり（澁谷）
資料⑧に基づいて CVV とのかかわりにおける土木学会小委員会活動内容や予定を紹介した。
- ・ 土木学会の HP に CVV の HP のリンクを張り付けることは進める。
 - ・ 土木学会 HP にある選奨土木遺産のページに CVV で調査した結果をリンクできないか。（今岡）
→小委員会幹事長の立場では判断できない。（澁谷）
→土木学会本部事務局に申し入れる必要がある。（川谷、南荘）
→川谷幹事長から学会本部事務局選奨土木遺産担当者に電話で申し入れた結果、「他のグループからも同様の依頼があるが、それぞれの調査内容の信憑性の判断が出来ないので学会としてリンクすることはできない」とのこと。
 - ・ 小委員会の活動に CVV メンバーが参加して交流することを予定しているのか。（黒山）
→未定であるがそういった話題が委員会の場が出た。（澁谷）
7. 新メンバーとの意見交換会開催報告（川谷）
新メンバーとの意見交換会の開催経緯とその協議内容を資料⑨に基づいて報告した。（川谷）
8. 2023 年度 CVV 会計報告と次年度以降の予算方針について（石原）
資料⑩に基づき今年度の決算見込みを紹介するとともに次年度関西支部からの助成金がなくなることを踏まえた会計運営方針案を説明した。また、川谷幹事長が会費（1,000 円）設定の経緯などを補足した。以後の協議内容は以下のとおり。
- ・ 会費から交通費等を支出すると書類作成に手間がかかる。（川谷）
 - ・ 助成金を出している学会支部が求めているので手間がかかっているが簡易な手法はあり得る。（黒山）
 - ・ いきいき活動の材料費や HP の維持費などが確保されるのであれば第 1 案（会費 1,000 円のまま、交通費の支給なし）でよいのではないかと。（祝）
 - ・ 奈良市内での見学会のアンケートでも同様の意見であった。（南荘）

- ・ 阪神高速の助成制度(未来(あす)へのチャレンジプロジェクト)は今からでも申し込み可能か。(鈴木)
→例年6月ごろ募集なので間に合う。ただ、継続的に助成されるかは不明。(川谷)
→競争率は高いようだ。(黒山)
- ・ 河川系の助成制度を調べたが今から申し込むと約1年後の2025年4月以降になる。
- ・ 他の助成制度も検討するが、当面は第1案を運営方針とする。(川谷)
- ・ 会員数が増加したのでグループ別の活動に変更したほうが良いかもしれない。一般市民への働きかけが必要であり、わかりやすいコンテンツでの発信を検討したい。また、ボランティアでは限界があるので資金を獲得できる活動にも取り組みたい。そのようなことを皆で時間をかけて議論したい。(古田)
- ・ 土木学会関西支部の「シニア技術者の活用委員会」の活動が始まるので、学会支部との関係を再構築できる可能性がある。(古田)

9. その他

- ・ 次回は総会を16半から、定例会を17半からとし、5月30日(木)に開催する。
- ・ 新会員が増えたので幹事団(グループ)の構成を再検討したい。グループへの新規加入や新規グループ結成の希望があれば今月中に連絡をいただきたい。(川谷)

文責：黒山